

地域看護学Ⅰ

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 宮本 郁子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

看護専門職として、地域で生活する人々の健康を支える視点を学ぶ。目標としては、プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションおよび地域包括ケア等地域看護の基本的な知識を身に付け、人々の健康ニーズをライフサイクルや健康レベルによって理解する。また、疾病予防や健康を保持増進する活動について基本的知識を理解し、プライマリ・ヘルスケアの概念に基づく医療活動、そして生活支援をする福祉活動を学び、看護職の役割を理解するとともに、地域で活躍する看護職の看護活動の実際を知る。

・教育成果（アウトカム）

看護の対象となる人々が生活する地域の捉え方を学び、地域特性と健康の関連性、個人・家族・集団、そして発達段階における健康との関連性を理解し、地域における看護職の役割を認識する。また、地域の実践を学ぶことにより、地域の人々を支える社会の仕組みを理解し、健康課題と地域の関連性を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 7, 8, 9

・到達目標（SBO）

1. 生活の場としての地域・社会の意味を説明でき、生活とは何か、生活と環境や文化との関係を説明できる。
2. 地域社会の文化、慣習が生活に及ぼす影響について説明できる。
3. 健康の定義について説明できる。
4. 健康に関する主要な概念について説明でき、健康の社会的決定要因について説明できる。環境（社会・文化的環境等）について説明でき、環境の現状や課題、環境と健康・生活との関連について説明できる
5. 様々なライフサイクルの背景にある文化を理解し、多様なライフスタイルを理解できる
6. 看護職が活躍する多様な場とそこでの役割を理解できる。
7. 地域の資源や様々なグループ、組織の活動について人々の暮らしと関連付けて説明できる

・授業日程

【講義】

(矢) 西 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/24	金	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	<p>地域を知る</p> <p>-地域の特徴を表すデータから-</p> <p>-地域の環境、歴史および文化から-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をデータ、環境、歴史、文化等の側面から捉えることができる ・健康増進計画から地域の特性を理解できる
4/27	月	4	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	<p>世界の潮流と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WHO 健康の定義を説明できる ・健康と社会のつながりについて理解できる ・プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションについて説明できる
4/28	火	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	<p>地域で生活する人々を知る①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する人々について、個人、家族及び地域集団、そして発達段階の側面から健康との関連性について説明できる
5/12	火	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	<p>地域で生活する人々を知る②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する人々のうち、看護の対象となる個人、家族及び地域集団等について理解できる
5/19	火	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	<p>地域の看護職の役割①</p> <p>-地域で活動する看護職-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で提供されるさまざまな看護を理解し、看護職の役割を説明できる
5/26	火	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	<p>地域の看護職の役割②</p> <p>-健康づくり-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす人々の健康づくりについて理解できる ・地域連携や地域包括システムについて理解できる

6/2	火	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	地域で暮らす人々の健康を支えている身近な事例について考える① ・岩手県のさまざまなデータから、健康に関連した対策を調べることができる (パソコン使用)
6/9	火	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	地域で暮らす人々の健康を支えている身近な事例について考える② ・岩手県内市町村のさまざまなデータから、健康に関連した対策を調べることができる (パソコン使用)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ヘルスプロモーション	市村久美子他	メヂカルフレンド社	2019
参	自分たちで生命を守った村	菊地 武雄	岩波新書	1968
参	吾が住み処 ここより外になし 一田野畑村本開拓保健婦のあゆみ	岩見 ヒサ	保健婦資料館 編	2017

・成績評価方法

定期試験 70%、授業内課題に対するレポート 30%により、総合的に評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習し、ポイントを整理して次回の授業に関する課題に取り組む。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業で出された課題やレポートは、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【Web Class の利用】

レポートは Web Class を利用して提出すること。詳細は講義時説明する。

【その他】

岩手県、市町村等のホームページ利用のため、パソコンを持参のこと（指示する）

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論

看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時資料投影